

自然災害・大規模地震への対応

本校では自然災害(火山災害を含む)・大規模地震が起きた際は次のように対応いたします。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【暴風雨、大雪の時】

午前6時00分の時点で『暴風警報』、『大雪警報』、『暴風雪警報』及び『特別警報』が、横浜市内に発令継続中の場合には、市立学校は一斉に**臨時休校**となります。

- ※登校後に発令された場合には、風雨が弱まるまで、学校でお預かりします。この場合には保護者(登録者)の方に引き取りをお願いすることもあります。(引き取りの場合はメール配信します。)
- ※『暴風警報』を伴わない『大雨警報』や『洪水警報』発令中の時は、周辺の状態を見て、**登校の可否をご家庭で判断**してください。
- ※子どもの安全を考慮して登校を見合わせた場合は、『遅刻・欠席』扱いにはなりません。欠席の連絡は入れてください。
- ※気象庁から特別警報が発表されたら、
 - ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
 - ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
 - ・ただちに身を守るための最善を尽くしてください。気象警報等の種類を問わず、「特別警報」が発表された場合は、『暴風警報』『大雪警報』『暴風雪警報』が発表された場合と同様の措置になります。

※暴風・大雪・特別警報による臨時休校については、メール配信による連絡はいたしません。

※学校への電話による問い合わせはご遠慮ください。災害時、緊急時における保護者自身の判断はとて大切ですので、各ご家庭で状況をよく見て判断し、安全第一の対応をお願いいたします。

【大規模地震発生時】

大規模地震発生時、原則として当日および翌日を休校とします。

※大規模地震とは、「市域のいずれかで、震度5強以上の地震が観測されたとき」

- ※南海トラフ地震に関する情報(臨時)のうち、地震発生の可能性が高まった時
 - ・原則では、通常通り
 - ・ただし横浜市より「全市一斉休校」の指示があった場合は休校となります。
 - ・指示がない場合でも状況によって登下校の見合わせ等の判断をすることがあります。
 - ・「南海トラフ地震に関連する情報」の発表は当面の措置であるため、今後変更となる可能性があります。
- ※東海地震「警戒宣言」発表による自動的「全市一斉休校」はなくなりました。

【登校後に大規模地震発生時】

※児童は学校に留め置きの後、引き取りとなります。

◎児童引き渡し方法

- 連絡・・・原則はメール配信で、児童引き取りをお願いします。ただし、電話制限等が予想されるため、テレビ報道などでわかり次第、児童を学校まで引き取りにきていただきます。
- 場所・・・安全が確保されれば、教室で行います。校舎の安全が確認できない場合は校庭で行います。
- 方法・・・各教室で、担任の持つ地域班カードで、引き取り人であることを確認します。確認後、児童を連れて帰っていただきます。

【その他預かり、引き渡しの対応が必要となる事象】

大規模地震にあたらぬ地震発生時においても、戸塚駅周辺の鉄道等の運行停止や地域の停電等の場合には、大規模地震発生時と同様の対応を行います。

【火山災害(降灰予報の発令)時】

午前6時00分の時点で、市内に気象庁による降灰予報が発表された場合は、学校を臨時休校とします。

※降灰時等における学校の対応

○児童生徒の措置等

(1) 登校前に市域内への降灰予報が発表された場合

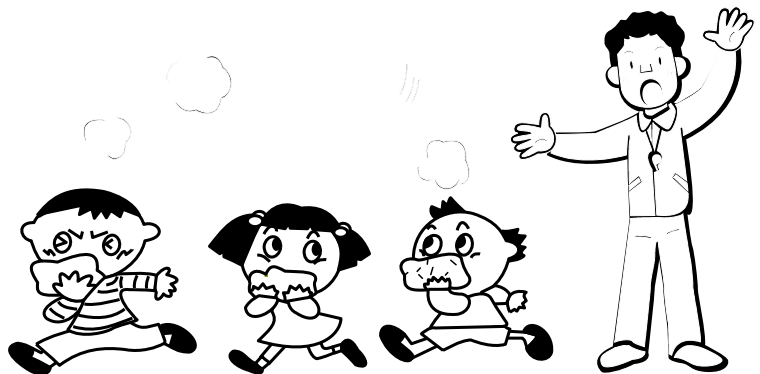
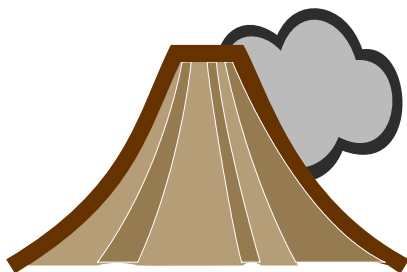
午前6時の段階で市内に気象庁による降灰予報が発表された場合等は、児童生徒の安全確保のため、全市一斉に「臨時休校」措置を講じます。

(2) 登校後に市域内への降灰予報が発表された場合

午前6時以降または児童生徒の登校後に、市内に気象庁による降灰予報が発表された場合などは、児童生徒の安全確認を行った後、原則として、次のとおり保護者による引き取り等の措置を行います。

また、軽微な降灰などで、児童生徒の安全確保や学校活動に支障がない程度の降灰の場合は、学校長の判断により、学校活動を継続・再開します。

小学校・中学校・特別支援学校においては、保護者が学校に引き取りに来るまで学校で預かる(留め置く)か、下校させるかの希望を聞き、原則それに従うこととします。



裏面有

☆災害時の緊急対応について

	大規模地震が発生した場合	「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」「特別警報」「降灰予報」のいずれか発令時
登校前	・登校させない	午前6時に、横浜市内（神奈川県全域か東部）に発令継続中の場合は 登校させない
登校後	保護者か代理引き取り人が、引き取りにくるまで、児童は学校に 留め置きます 。 ※第一避難所は、学校の校庭です。 ※校舎が無事な場合は教室で引き渡します。	下校時刻の変更や引き取り等の緊急措置を検討し メール配信 をします。
登下校中	☆大地震が発生した場合 ・看板、家屋の外壁、高いビルの窓ガラスなど落下物から身を守る。 ・最寄りの避難場所、あらかじめ定めてある避難場所、近くの公園、空き地など安全な場所へ、直ちに避難する。 ○家に近い場合 =家に行く ○学校に近い場合=学校に行く ※教職員が、誘導のために交差点等に行きます。 ※ご家庭でも避難場所、避難方法を、よく話し合っておいてください。	

【参 考】

1 横浜市危機管理室ホームページ「横浜市の気象情報」

- (1) 横浜市ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/>) にある、「防災情報」をクリックし、次の画面「防災・災害情報」にある「防災情報」をクリック。
 - (2) 「横浜市域の災害情報・警報・注意報」→「警報・注意報」→「気象警報・注意報」から地図上の「神奈川県」を選び、「横浜市」の欄に「警報」が表示されている場合は、該当の警報が横浜・川崎に発表継続中。
- ※「警報注意報情報」のページへは、横浜市教育委員会ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/>)

2 横浜市防災情報ホームページ（携帯電話版）

- (1) 携帯電話（パソコンも可）。<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>
- (2) 「気象特別警報・警報・注意報」を選択
- (3) さらに、「現在の注意報・警報へ」を選択すると、その時点での、横浜・川崎に対する警報・注意報発表状況が確認できます。

3 横浜市「防災情報Eメール」配信

上記2「横浜市防災情報」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、Eメールで受信することができます。

【注意点】

- (1) 情報料は不要ですが、Eメール受信に関する通信料は受信者の負担となります。
 - (2) 通信インフラの性質上、遅配や配信されない場合があります。
 - (3) 携帯電話等で、メールの着信制限を設定している場合は、防災メールのアドレス (yokohama@bousai-mail.jp) から着信できるように設定する必要があります。
- ※ 警報発表状況に関するその他の確認方法
- NTTの「177」では、電話をかけた時点で警報等が発表継続中であれば、冒頭で放送されます。ただし、利用が集中した場合、つながりにくくなる場合があります。